

# 注意報

5 病 第 2 4 号  
令和 5 年 9 月 2 1 日

関係各位

京都府病虫害防除所長  
(公 印 省 略)

## 病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

## 病虫害発生予察注意報第 2 号

作物名 豆類(黒大豆、アズキ)  
病虫害名 吸実性カメムシ類(アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ、ミナミアオカメムシ等)

- 1 発生地域 府内全域  
2 加害時期 着莢から黄熟まで  
3 発生量 平年比やや多い  
4 注意報発令の根拠

- (1) 9月中旬に行った黒大豆の巡回調査の結果、寄生株率は3.0%で平年比やや多く、25株当たりの虫数は1.1頭で平年並、発生ほ場率は37.5%で平年並(表1)。  
(2) 9月中旬に行ったアズキの巡回調査の結果、寄生株率は1.7%で例年比やや多く、25株当たりの虫数は0.6頭で例年比やや多く、発生ほ場率は50.0%で例年比多い(表1)。  
(3) アオクサカメムシの予察灯(60W)への誘殺数(8月第3半旬~9月第2半旬の合計)は、京田辺市で誘殺を認めず(平年並)(平年0.4頭)、亀岡市で8頭(平年:0.3頭)で平年比多く、京丹後市で誘殺を認めていない(平年:0.2頭)(図1)。  
(4) イチモンジカメムシの予察灯(60W)への誘殺数(同上)は、京田辺市で誘殺を認めず(平年並)(平年0.4頭)、亀岡市で10頭(平年:0.6頭)で平年比多く、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)(平年:0.4頭)(図2)。  
(5) ミナミアオカメムシの予察灯(60W)への誘殺数(同上)は、京田辺市で2頭で平年並(平年1.7頭)、亀岡市で17頭(平年:0.3頭)で平年比多く、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)(平年:0.0頭)(図3)。  
(6) イチモンジカメムシの予察灯(BL)への誘殺数(同上)は、京田辺市で誘殺を認めず(平年並)(平年0.7頭)、亀岡市で8頭(平年:2.3頭)で平年比多く、京丹後市で4頭で平年比やや多い(平年:1.7頭)(図4)。  
(7) ミナミアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数(同上)は、京田辺市で3頭で平年比やや多く(平年1.8頭)、亀岡市で10頭(平年:1.1頭)で平年比多く、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)(平年:0.0頭)(図5)。  
(8) 9月16日発表の大阪管区气象台発表の1か月予報では、向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている。今後、本虫による被害の増加が懸念される。

表1 黒大豆及びアズキほ場における吸実性カメムシ類の発生状況

作物	項目	本年	平年値(例年値)	平年比(例年比)
黒大豆	寄生株率(%)	3.0	2.3	
	虫数(頭/25株)	1.1	0.5	やや多い
	発生ほ場率(%)	37.5	37.5	
アズキ	寄生株率(%)	1.7	(1.0)	
	虫数(頭/25株)	0.6	(0.3)	(多い)
	発生ほ場率(%)	50.0	(5.1)	



アオクサカメムシ成虫  
(触角第3、4、5節が黒色)



ミナミアオカメムシ成虫  
(触角第3、4、5節が褐色)



イチモンジカメムシ成虫



ホソヘリカメムシ成虫

写真1 豆類の主な吸汁性カメムシ類

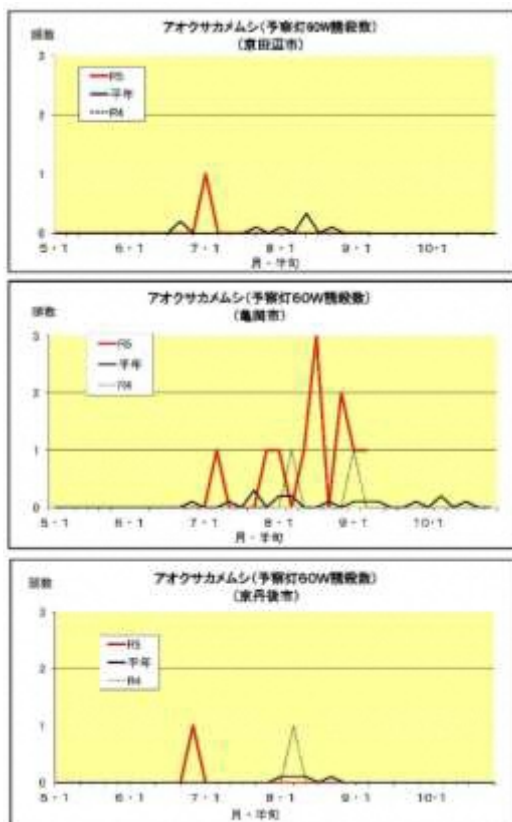


図1 アオクサカメムシの60W予察灯への誘殺状況

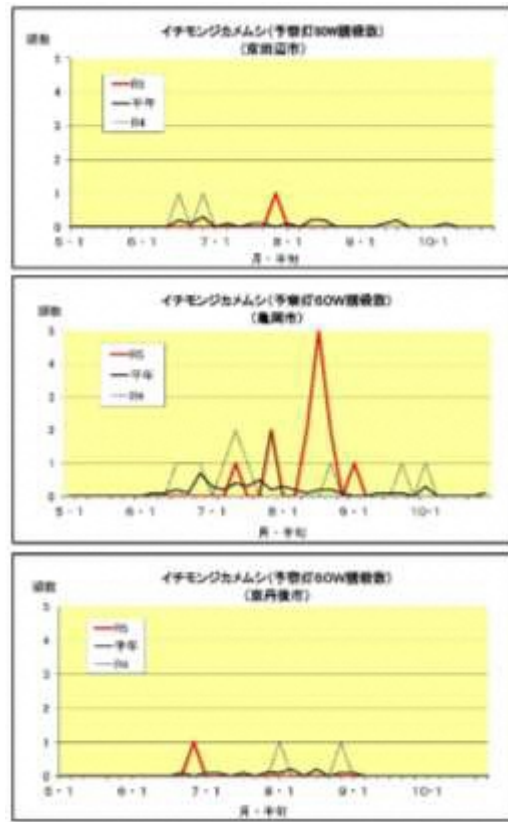


図2 イチモンジカメムシの60W予察灯への誘殺状況

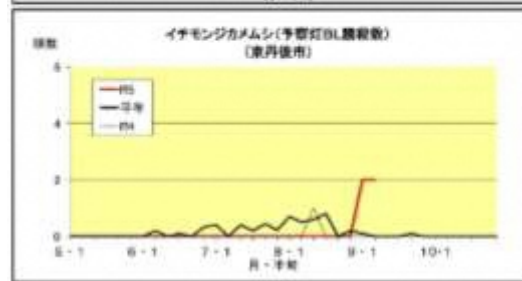
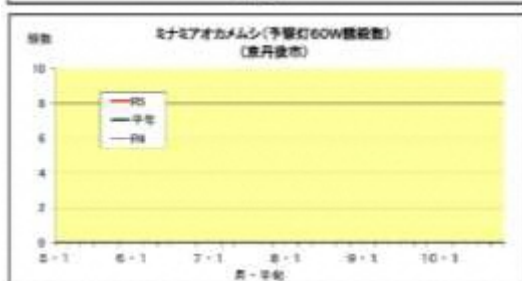
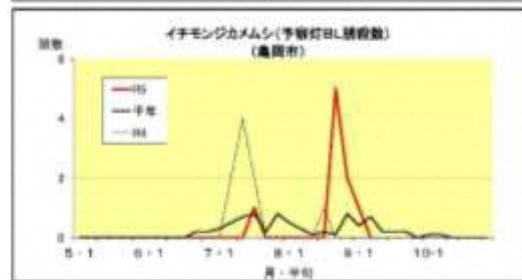
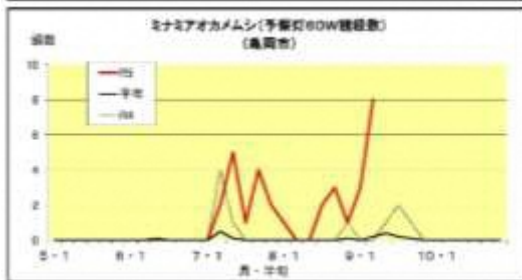
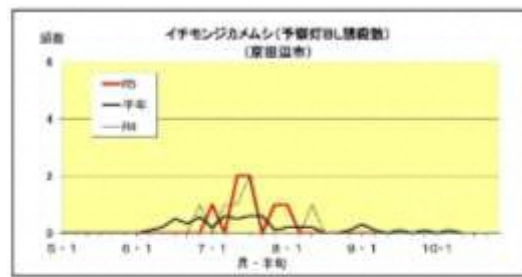
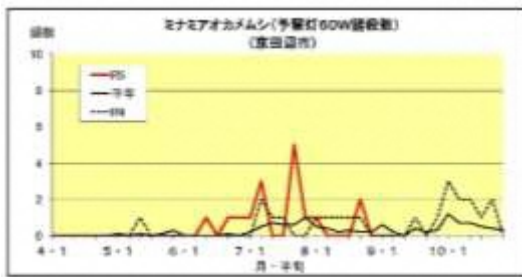


図3 ミナミアオカメムシの60W予察灯への誘殺状況

図4 イチモンジカメムシのBL予察灯への誘殺状況

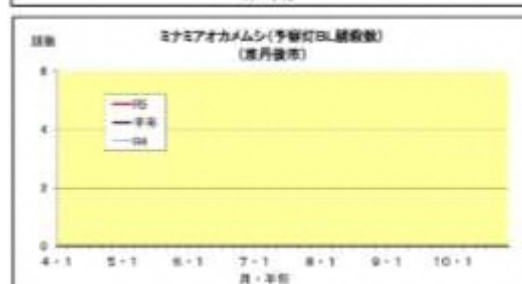
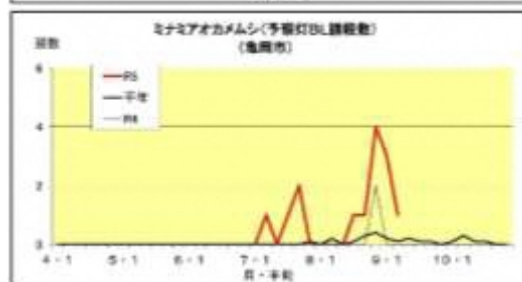
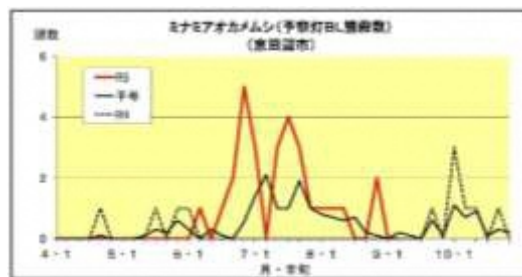


図5 ミナミアオカメムシのBL予察灯への誘殺状況

## 5 防除上の留意事項

- (1) 黒大豆における吸実性カメムシ類の防除適期は着莢期から子実肥大中期です。約10日間隔で2～3回防除を実施してください。
- (2) アズキにおける吸実性カメムシ類の防除は開花期直前から約10日間隔で2～3回実施します。収穫までの日数を考慮して防除を実施してください。
- (3) 薬剤散布の際は、薬剤が莢によくかかるよう散布してください。

農薬の使用に当たっては、ラベルやインターネット等で最新の使用方法や注意事項を確認してください。また、各薬剤の使用回数を守るとともに、同一成分を含む農薬の総使用回数についても注意してください。